

平成22年度 保護者による学校評価の報告

副校長 加藤 孝夫

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、深いご理解とご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。この度は、お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。回答の集計がまとまりましたのでご報告いたします。

1 適切な学校目標が掲げられ、その達成に向けて教職員が協力して取り組んでいる。

校是「進取貫道」のもと、教職員が協力して取り組んでいるという事について、A・B評価の合計が97%と、極めて高い評価をいただきました。しかし一方では、熱心な指導には感謝しつつも、「生徒のやる気をもっと引き出させるような指導」や「実態に合わせた指導」について、もう少し工夫をして欲しい、という大変貴重なご意見もいただきました。

本校では、成績不振な生徒には、理解度に応じて、補習等の指導の中で完全理解をサポートしていますが、授業の中でも興味・関心を引く「魅力ある授業」の実践を目指していきたいと考えています。また、3学年について、「受験は団体戦である」を合いことばに、学年団が一丸となって、生徒一人一人に親身な指導をしていることや、生徒の学習環境を整え、学年全体で学習する雰囲気を作っていることが保護者に高く評価されており、全体としての取り組みの方向性に間違いはないと自信を持つことができました。

2 学校は、生徒や保護者のニーズを把握し、満足度を高めるように努めている。

A・B評価合わせて90%となりました。各種PTA行事等の様々な機会を通して、意見や情報を収集し、改善に努めていこうとする学校の姿勢が評価されていると受け止めています。しかし、C・D評価が10%あると言う事も事実であり、今後さらに生徒・保護者のニーズを把握し、教職員の共通理解のもと改善を図り、満足度を高めるように努めてまいります。

3 進路希望達成に向けて、適切な学習・進路指導が熱心に行われている。

A・B評価合わせて90%以上の高いスコアとなりました。各学年ともたくさんのご意見・ご要望をいただき、学習指導・進路指導への関心の高さがうかがえます。とりわけ、3学年の保護者からは、「教職員の熱心な指導に対する謝意」が数多く寄せられました。地域のセンタースクールとしての本校の役割を精一杯履行している結果として、保護者の皆様から高い評価をいただいたのだと考えております。今後とも、進路目標の達成に向け、質の高い授業を提供し、生徒の興味関心を喚起しながら、学力の向上を図り、保護者の期待と負託に応えてまいりたいと考えております。

4 挨拶や服装など生活面に关わる指導が徹底しており、効果をあげている。

A・B評価合わせて92%と過去3年間で最も高い評価となりました。挨拶と服装については、全職員が共通意識で指導にあたってきたことが、生徒の中で定着してきた結果であると考えております。今後も、継続して参ります。しかし、自転車走行マナーや携帯電話の使用マナーについては、まだ十分徹底できておらず、保護者と地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、さらに指導を進めて参りたいと考えております。

5 部活動指導が、適正、かつ活発になされている。

A・B評価合わせて90%でした。過去2年間89%でしたのでほとんど変化がありませんが、内訳を見ると、A評価の割合が増えて、B評価の割合が少なくなっています。「部活動が適正かつ活発に行われている」ことに対して、好意的な評価をいただいたと考えております。しかし、「大会や練習試合が多くて、経済的負担が大きいので出場する大会等を精選して欲しい。」または、「部活動による課外不参加に対するフォロー（補習など）が欲しい。」といった意見もございました。今後、生徒・保護者の意見や要望を積極的に掌握し、文武両道のバランスのとれた指導態勢を構築するよう努めて参ります。

6 学校と保護者との意思疎通・PTA活動との連携が図られている。

A・B評価合わせて82%と、今回最も低い値となりました。小学校や中学校と異なり、PTA行事が少ないこともあり、どうしても学校との距離を感じてしまうといった意見が多く寄せられました。今年度は、5月のPTA総会の開催にあたって、できるだけ多くの保護者に出席していただけるよう、開催日程や開催時間などを検討・改善し、全校で51%の出席をいただきました。さらに、各学年PTAは、夕方の6時からの開催になりましたが、3年71%、2年71%、1年60%と、多くの保護者の出席をいただきました。保護者の教育に対する関心の高さを示していると考えられます。また、PTAの各委員会では、総務委員会の文化祭バザー、健全育成委員会の放課後交通指導、そして、広報委員会では、定期的に委員会を開いて、広報発行の話し合いをしております。学校としては、これからも、できる限り、多くの機会を利用して、保護者や地域の方々の意見や要望を聞き、連携を図っていきたいと考えております。

7 学校は、必要な情報を発信し、保護者・地域への説明責任を果たしている。

本校では、進路情報、学年通信、学級通信（学級毎随時）、PTA会報、ホームページ等により、生徒に対する情報提供を積極的に進めております。情報量としては、決して少なくはないと考えておりますが、今回の保護者アンケートでは、A・B評価合わせて82%と項目6と同じ低い数値となりました。今後、学校で発信した情報が、確実に保護者のお手元に届くような働きかけと工夫が必要であると考えております。また、本校では、PTA参画型の双方向的な学校運営を目指しておりますので、学校に対しても、たくさんのご意見・ご提案をお寄せいただけますようお願いいたします。

8 子供が久慈高校で高校生活を送っていることに満足している。

A・B評価合わせて94%と項目1に次ぐ高い数値になりました。「久慈高で本当によかった」「充実した生活を送っている」「楽しく学校生活、部活をやっている」など、保護者の感想に、久慈高校に対する信頼感と期待感が現れていると考えます。本校では、学習活動と部活動の両立を支援し、充実した高校生活を送れるように、生徒の満足度を上げる努力をしております。将来は、地域のリーダーとして、社会に貢献できる調和のとれた生徒の育成を目指して参ります。

9 その他

全体的に高い評価をいただきました。学校運営全般に対して、多くの支持と理解をいただいていると受け止めます。しかし、それ以上に心強いのは、多忙な時期にもかかわらず学校評価アンケートに協力いただいた保護者が、昨年の490世帯から512世帯に増えており、回収率約92%（昨年86%、一昨年84%）という数値の高さは、そのまま本校の教育活動に対する保護者の関心と参画意識の高さを物語っていると考えます。教育を巡る環境は、厳しさを増しておりますが、本校においては、保護者の理解と支援態勢が盤石であることに教職員一同意を強くして、さらに開かれた学校をめざし日々の教育活動に邁進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 22 年度学校評価集計結果(保護者)(%)

岩手県立久慈高等学校 10 月調査

《凡例》

A できている B 概ねできている C あまりできていない D できていない

No	評価項目	学年	A B 計		C D 計	
1	適切な学校目標が掲げられ、その達成に向けて教職員が協力して取り組んでいる。	1	97	97 (98, 97)	3	3 (2, 3)
		2	95		5	
		3	99		1	
2	学校は、生徒や保護者のニーズを把握し、満足度を高めるように努めている。	1	90	90 (91, 92)	10	10 (9, 8)
		2	88		12	
		3	93		7	
3	進路希望達成に向けて、適切な学習・進路指導が熱心に行われている。	1	93	91 (91, 94)	7	9 (9, 6)
		2	88		12	
		3	93		7	
4	挨拶や服装など生活面に関わる指導が徹底しており、効果を上げている。	1	96	92 (91, 89)	4	8 (9, 11)
		2	90		10	
		3	92		8	
5	部活動指導が、適正、かつ活発になされている。	1	92	90 (89, 89)	8	10 (11, 11)
		2	88		12	
		3	89		11	
6	学校と保護者との意思疎通・PTA活動との連携が図られている。	1	81	82 (84, 86)	19	18 (16, 14)
		2	79		21	
		3	87		13	
7	学校は、必要な情報を発信し、保護者・地域への説明責任を果たしている。	1	81	82 (85, 87)	19	18 (15, 13)
		2	83		17	
		3	82		18	
8	子供が久慈高校で高校生活を送っていることに満足している。	1	95	94 (95, 94)	5	6 (5, 6)
		2	91		9	
		3	97		3	

* ()内は左から順に昨年度、一昨年度の数値(%)

1 学年集計 168 人 2 学年集計 189 人 3 学年集計 155 人 全学年集計 512 人 91.6%